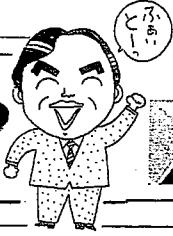


お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

皆さま、こんにちは。
「かおる通信」69号をお届けします。
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

春風万福

■お正月の空気はなぜか一段と新鮮です。元日の朝、天からの風を受け、力いっぱいの深呼吸をしました。2015年の新春をお元気でお迎えのこととお慶び申しあげます。

■42歳で旭川市議会にださせていただき早いもので4期目が終わろうとしています。違う道を歩んでいたら、これだけの素晴らしい人々との出会いもなかった、そう思うだけでも、自分の幸福度は高レベルです。

■今春の統一自治体選挙に再び出陣することを決意しました。旗印は今度も「信頼一番」。容赦なく襲ってくる「人口減少攻撃」。その正面にたち、「既成概念」を突き破って地方やふるさとを守っていきたい、そんな意概でいます。

■今春、イオンモール旭川駅前がオープン、3年後には新庁舎の建設が始まります。これらを活かしどう中心市街地全体を活性化できるか、知恵のだし所です。また、第4期工業団地の造成や母校・市立旭川小学校と同中学校の一貫校創りなどにも全力を尽くして参ります。

■我が家は、長女夫婦と孫3人、「晴れたり曇ったり」の毎日。次女は遠くジャマイカで4回目のお正月です。母は2ヶ月の入院から共生園での生活に戻ることが出来ました。

■さあ、新年。丘の上のひつじ達は、争いのない、穏やかな年を求めています。ご一家みなさまのご平安を心からお祈り申し上げます。

2015年 未年元旦



旭川市議会議員 笠木かおる



第4回定例市議会報告

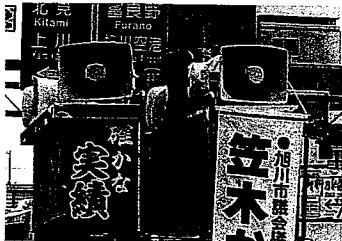


第4回定例市議会は12月12日に開会し、24日までの13日間の会期で開かれました。

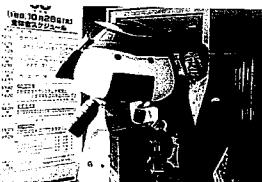
私は19日、本会議場で一般質問に立ちました。第3期西川市政初めての議会で、今後4年間の西川将人旭川市長の意気込みを聞く質問となりました。41項目の公約実現に向けて、確実に、堅実に、街づくりをすすめていかなければなりません（質問要旨は裏面に記載）

続いた選挙。街頭で訴えました。

旭川市長選挙（11月9日投票）、衆議院総選挙（12月14日投票）と続きました。その結果、市長選では西川将人さんが東国幹さんを破り、衆議院小選挙区では佐々木隆博さんが今津寛さんに競り勝ちました。自分も期間中、選挙に明け暮れていました。2つの選挙とも激戦で、「1票の重み」を強く感じる開票結果でした。



全国老人福祉施設大会



10月28日から3日間、仙台市で開催された第71回全国老人福祉施設大会に参加しました。

今年は介護保険制度の改訂が予定され、各自治体では地域包括ケアシステムの構築が求められます。

制度の狭間で苦しむ人々にどう貢献できるのか、その大切な土台は、「地域に根ざし、地域とともに歩む」こと以外ないように思います。

植樹



10月19日、西川将人旭川市長らと旭山公園に蝦夷山桜を植樹しました。旭山公園は少年時代の最大の遊び場でした。とりわけ、桜の咲く5月、よく亡き兄と旭山に遊びに行ったものです。当時の楽しかったことを思い出しながらの植樹でした。

地域要望解決に全力。



年々、地域課題の要望件数が増えています。その実情をしっかりと行政に伝えるのも大切な議員活動です。自宅で「市政相談室」を開設中です。お気軽にご連絡ください。「現場主義」でがんばります。

市政相談室 電話32-4863番

ホームページで写真付ブログを毎日発信中です。

笠木かおる

東北

人口減少にどう歯止めをかけるのか



第4回定例会での一般質問で、人口減少問題を取り上げました。国立社会保障・人口問題研究所は「2040年、旭川市の人口は24万9千人に減少する」と推計しています。

この数字は「何もしなければ、何もなければ、こうなる」というもので、人口増加に転じさせるための旭川市役所全体の気概と情熱が求められています。西川市長は、「産業の活性化による新たな雇用の創出に取り組み、学校卒業後、地元に定着する施策展開に全力をあげる」と答弁しました。

「地域創生」の取り組み

安倍内閣は「地域創生」のビジョンと総合戦略を取りまとめました。これに対する「地方版・総合戦略」の策定が求められます。一般質問で西川市長は「地域資源や特性を最大限に活かした地方版の総合戦略を策定していく」と答えました。

新庁舎の建設



41項目の公約のうち、大型事業の一つに新庁舎の建設があります。

「財政規律を維持し、後世につけを残さない」との視点で質問しました。西川市長は「建替場所や規模、事業手法の構想をまとめ、2018年までの建設着手を目指す」と決意を述べました。

第4期工業団地の造成

人口流失に対抗する政策の「1丁目1番地」は、経済産業の基盤を強め、生産高や出荷額を高めることです。その一つの施策として、東旭川の第4期工業団地の造成に力を入れてきました。

今回の一般質問で旭川市は「地方拠点法」に基づく開発行為を北海道と協議していることを明らかにし、「27年度、測量や実施設計を行う」と答弁しました。分譲面積は約22ha、全体事業費は約21億円になる予定です。



イオンとの包括連携協定

今春3月、イオンモール旭川駅前がオープンします。この間、回遊性や相乗効果を高め中心部全体が活性化するよう、特に約900台整備されるイオン駐車場の市民開放を求めてきました。

市は、買い物客以外の市民も一定時間無料利用できるようにイオン側と協議していることを明らかにし「包括連携協定に盛り込んでいきたい」と答弁しました。



特別養護老人ホーム・指定障害者支援施設「共生園」は今年、13年目に入りました。昨年は新型・特養「共生園Ⅲ」(30床)もオープン。介護職員の人材不足に直面しましたが、お陰さまで秋には全室稼動することができました。これからもスタッフ一同、笑顔と「ありがとう」の言葉が溝々まで響き渡るよう、利用者様と一緒にがんばっていきます。

ふれあいいきいきサロン



千代田地区・愛宕地区的「ふれあいいきいきサロン」に顔をだしています。最近は、利用者の方々から逆に「元気そうだね」と激励を受けます。ボランティアの皆さまのお姿に学び、自己修行が続きます。



開拓の歴史を学ぶ



11月26日、旭川兵村記念館で芦原高穂・旭川神社宮司や円山宏一・同財団理事長らと、旭川開拓の歴史と文化について勉強しました。個性ある街づくりは、地域の歴史や文化がベースにあるべきと、基本に返った勉強会でした。兵村記念館には文化財が「宝の山」です。旭川の貴重な財産の一つです。



祝い酒



荻原憲嗣さんのスポーツ功績賞、川村勝廣さんの社会貢献賞、磯石浩二さんの叙勲のお祝いなどにご案内をいただきました。栄えある受賞、長年の功績を讃えての祝い酒は、格別の味でした。



<近況> 憂しい日々が続きましたが、孫3人の成長に癒される毎日です。次女・香菜から「選挙の手伝いに帰るからね」とメールがありました。写真は孫の友達と西川市長らです。

笠木かおるプロフィール

- 昭和32年 東旭川で水田農家の次男として生まれる。
- 昭和50年 道立旭川商業高等学校卒業。(サッカー部FWで全道大会活躍) 汽車が好きで旭川鉄道管理局入社。
- 平成11年 「約束をしっかりと守ること。たとえ小さなことに対しても一生懸命に努力すること」を公約に、旭川市議会議員に初当選。(3114票・30位当選)
- 平成15年 旭川市議会議員再選。建設公営企業常任委員長。(5169票・2位当選)
- 平成19年 旭川市議会議員再選。議会運営委員長。総務常任委員長。(6433票・2位当選)
- 平成21年 旭川市議会議員再選。民主市民連合会長。(5902票・トップ当選) 現在、総務常任委員会委員。都市計画審議会委員。
- 主な活動 社会福祉法人旭川共生会常務理事
旭川市パークゴルフ協会顧問
旭川地区サッカー協会相談役
北海道美容業生活衛生同業組合旭川支部顧問
旭川盲人福祉協会顧問
旭山を活かす街づくり市民の会参与
- 好きな作家 司馬遼太郎
- 趣味 お香をたくこと
- 好きな言葉 夢はでっかく。根は深く。(相田みつを)
- 家族 長女夫婦と孫3人の6人暮らし。次女はカリブ海ジャマイカで生活。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。